



平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

いの町長 塩田



中期的な計画の作成にあたっての意見について(回答)

●重点化を進める上で特に優先度の高い政策

○道路整備交付金の拡充・継続

- ・地方道路交付金事業、道整備交付金事業の更なる拡充と継続を要望します。

○地域の実情にあった道路改良の実施

- ・道路改良の場合、最低幅員構成3種5級を基本としつつ、地域の実情にあった幅員や勾配での事業が実施出来るように更なる見直しを要望します。

○交付税措置の堅持

- ・過疎、辺地、離島の地方債については、引き続き交付税措置を要望します。

○都市部への渋滞の緩和

- ・高知市～いの町における交通混雑の緩和、路面冠水の解消、交通安全の確保及びアクセス向上を目的として計画されている国道33号高知西バイパス全線の早期供用を要望します。

○地域の基幹道路の整備促進

- ・土佐IC(高知自動車道)と高知西バイパスを結ぶ県道土佐伊野線や国道56号(春野町)と高知西バイパスを結ぶ県道高知南環状線等のアクセス道路及び大豊IC(高知自動車道)と吾北地区や仁淀川町を結ぶアクセス道路(国道439号)の早期整備を要望します。

## ○安全の確保

- ・山間部の道路は、急カーブ急勾配及び見通しが悪く非常に危険な箇所が多く、早急かつ計画的な改良を要望します。

## ○南海・東南海地震等に対応

- ・近い将来に懸念されている地震発生に対応できるライフラインの確保及び緊急物資輸送路への落石防止対策を要望します。(県道高知伊予三島線檜ヶ峰トンネル・主要道路)また、地震時の橋梁の落橋防止工事の推進も併せて要望します。

## ○美しい景観や活力ある地域づくりの推進

- ・山岳観光の拠点へのアクセスの向上を要望します。(県道石鎚公園線)

## ●効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

### ○自治体管理橋の長寿命化修繕計画策定事業の創設

- ・町道橋の長寿命化及び修繕・耐震補強・架け替えに係る費用の縮減の促進を要望します。

## ●その他道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路特定財源については、地方の道路整備がこれからも必要であるという状況を踏まえたうえ、受益者負担という制度趣旨を十分尊重し、一般財源化することなく地方の道路整備予算を堅持するよう要望します。